



# も り 森林の風

森林施業 認定 NPO 法人

森林の風

会長 瀧口 邦夫

平成 26 年 7 月 発行

第 20 号

だ よ り



(まちのきこり人育成講座 2014 全 8 回終了時 森林の風メンバーと受講者のみなさんで)

## まちのきこり人育成講座 2015 実施決定！

主催：森林の風

後援：三重県

来年度、10年目を迎える講座は増々充実します。  
多彩な外部講師をお迎えする予定です。共に学びましょう！

11月より受付開始

森林施業 認定 NPO 法人



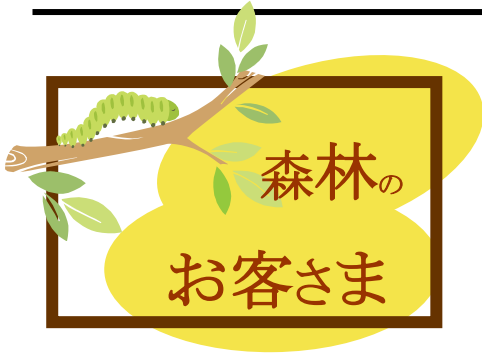
も り  
森林の風

連絡先 / 〒512-0933 三重県四日市市三滝台 4 丁目 15-7 TEL 059-321-7719 携帯電話 090-9663-4088

<http://www.morinokaze.info>

\*詳しくは、ホームページまたは上記までお問い合わせください。





## 手入れを考える

月山義高刃物店三代目  
藤原将志

私は月山義高刃物店の三代目で、研ぎ師として活動をしています。研ぎとは刃物を切れるように「手入れ」をする行為の事。私が研ぎにこだわりを持つようになったのは、研ぎを通して刃物の硬さ、粘り、厚み、歪みなどがわかるようになったからです。

「手入れ」とはその手入れするものを理解することに繋がると考えております。どのように手入れをすればそのものが生きかえるのか。どのように手入れをすれば長く使えるのか。正しい手入れにこだわることで本質を理解することができ、それが品質を管理することになり、良い仕事にも繋がると考えております。

人工林や里山なども、より専門的で自然を相手にした手入れが必要だと思えます。私も研ぎを多くの方に知っていただく活動をしておりますが、正しい手入れをし、それを伝えることが産業や文化を守ることになると信じています。



## トピック Topic 森林の風、強力薪割機を導入

【岡島】



薪と言えば、私の記憶の中では薪に依る直焚きの五右衛門風呂が一番に浮かびます。たしか、昭和30年頃まで薪風呂を使って居たように思います。当時、薪割は子供の役割の一つでした。

人々の生活から薪が消え、石油系燃料に支配されて久しくなりますが、近来、E C Oの観点から暖房手段としての薪ストーブが見直されて普及しつつあるようで、薪の需要が出てきています。

当会も間伐材の有効利用の観点から薪作りを始めました。当初は、斧での薪割を試みましたが、量的に需要を満たせないのと、疲労軽減のために、電動式で出力3.3トンの薪割機を導入しました。人工林の間伐材で直径15～30cm位のスギ、ヒノキを割って居る間は、この機械で十分間に合っていました。が、里山、公園等の整備で広葉樹の入手が出来るようになると直径が60cm程度の大径木があり又、小径であっても節が多かったり、筋目がねじれていたりして、この機械では能力不足で刃が立たなくなりました。

その為、此の度オレゴン社製エンジン付き油圧式出力2.2tの薪割機を導入しました。この機械は縦、横兼用で性能は抜群、60cm程度のコナラ材もワンショットで割り切ります。又、楔刃が受けまで届く為、割りの腰が出ないので、筋目のねじれた広葉樹には最適です。今後は当会の力強い味方になる事、請け合いです。



森林の風さん、モリノカゼさん、今日はどちらへ？

# 東芝の森へ。

協働フィールド紹介②  
(株)東芝

## 四日市市



三重県が推進する「企業の森」の業務委託を受けて、森林の風が施業している林地としては4番目となるこの「東芝の森」は四日市市水沢町の通称「モミジ谷」と言われる景勝地の隣にある市有林約5.8haです。

5年間の契約(2012年10月~2017年9月)で、毎年約1.2haの間伐・枝打ちをし、年に1度モミジ等の植栽イベントを実施する施業計画を策定しました。

今年(2014年)は実質3年目に入り間伐も半分以上終了して林内に大分日が差し込むようになりましたが、ご多分にもれずここも鹿による食害がひどく、おそらく5割以上が大小何らかの食害を受けているようです。四日市市としては良材の生産を目指しているようですが前途は厳しいものを感じます。近々具体策を検討する予定です。

「東芝の森」では、数ある森林の風のフィールドとしても初の試みであり、事業主(株)東芝のご希望もあって「三重県森林CO2吸収量評価認証制度」の認証申請を行いました。調査、審議を経て平成24年度に森林整備をした1.27haにつき17.9tのCO2吸収の評価認証いただきました。【フィールド担当 高崎】



### — 評価内容 —

整備した森林の整備時点での1年あたりの二酸化炭素吸収量(t-CO2)で評価します。

### — 森林吸収量の算定方法 —

気候変動に関する政府間パネルのガイドラインに準じ、調査機関が現地調査を行い、次式により算定します。

CO2吸収量 = 森林面積 × 1年あたりの幹の成長量 × 容積密度 × 拡大係数 × (1 + 地下部・地上部比) × 炭素含有量 × CO2換算係数

東芝社員とその家族の皆さんが植樹をしたり、間伐体験したりします。

前年度のイベント時から林内がどんな風変わったかも楽しみにされています。

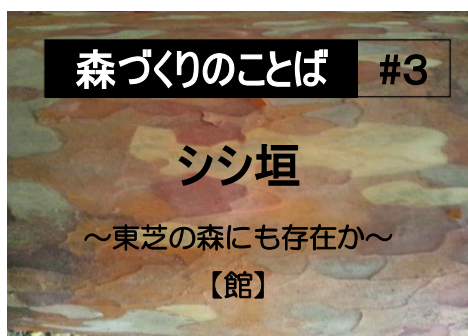


ふだんは、森林の風のメンバーが枝打ちや間伐など林内整備を進めています。



東芝の森に、このようなこんもりしたところがたくさんあります。「何かな…？」と思いつけていけば、答えは見つかるものです。

先人の闘いのあと、「シシ垣のあと」かもしれません。



『日本のシシ垣』(古今書院 高橋春成編)を読んで

高橋氏によると、「シシ」とはイノシシ、シカ、カモシカなど肉を食べることができる獣類を総称しているらしい。人の耕作物を食い荒らすそれらの獣から防護する柵がシシ垣である。しかも長い。江戸時代には 10km を越えたものがあった。材質は、木や竹を編んだものから土を積み上げたもの、立派なものでは石を積み

上げたものもある。ここには獣と人間の長い闘いの歴史がある。今でも農家と獣、林業家と獣の闘いは延々と続いているし今後も続くだろう。

私が認知していたのは東紀州の石のシシ垣である。はじめて見た時は沖縄の暴風よけの石垣と似ている気がした。聞いてみると高さが 1.5m もある堅固なものだ。紀伊長島から紀宝町に至るまでの山々に囲まれた場所はこのようなシシ垣だらけである。山中ではシカが樹木を食い荒らしていた。

紀伊長島の猪垣を調べた中野朝生氏によると、江戸時代の古文書には、新鹿（あたしか）で全長約 12km のもの、二木島、里町の境では高さが 2~3m に達するもの、二重のシシ垣もあって、まるで城の名垣である。総延長は 30km にも達し、推計すると築造に延べ 1 万人以上が関わっている。垣を築き、重上げしてもさらに、猪鹿の来襲に備えて「やらい」という夜の間の泊まり込みまでしていたのでは炭焼きもできず…と困憊する様子も資料からうかがえる。

寺本憲之氏によりシシ垣から端を発し獣害対策の方向性が示されている。農業被害を受けている人々、自治会、農業組合、役場、学校、ボランティアなど地域住民の人的協力関係、合意形成の必要性が語られている。また、県、国等行政の中に蓄積されている技術を学び、コーディネーターを育成し、啓蒙・啓発を継続的に展開しなければならない。

高橋氏の「シシ垣は語る」の詞にあるように、私たちはシシ垣の語りかけに耳を傾け、生きるということはどういうことかを、考えなければならない。そして、野生動物との折り合いをどの様につけていくかを、考えなければならない。



森林の風 info

- ◆森林の風は木材利用ポイント制度の「森林づくり寄附先団体」として登録しています。木材利用ポイントの寄附先をお探しの際はぜひ森林の風をご指定ください。
- ◆間伐材を利用した薪を販売しております。
- ◆10月には「出張！まちのきこり人育成講座」全3回開催予定！詳細が決まり次第 HP に掲載します。

# 5500本 GOGO植樹

## 御在所岳頂上植樹作戦！！

【会長 瀧口邦夫】

三重県北部の名峰・御在所岳頂上のツツジ群落再生に取り組んで7年目を迎えました。カモシカセンター閉館とシカの害が重なり、四季を通じて楽しめる自然に陰りが出ています。5年前から植樹事業をスタート、その後「5500本 GOGO 植樹」と題し、これまでには中部電力(株)、NPO 法人中部リサイクル運動市民の会、(株)三重銀行などのご支援を得てきました。6月7日の「1本の木は地球という森の入り口」と題した植樹イベント(中部電力主催)で、これまでの植樹本数が1200本を超えました。皆様のさらなるご支援をお待ちしております。

また、カモシカセンター跡地の奥には、以前咲き誇っていた姿が鳴りを潜めるシャクナゲの群生地があり、そこでも「1000本シャクナゲの森(仮題)」として再生を進めています。今年は最初に植樹したシャクナゲが花を咲かせました。

いずれの事業も鈴鹿国定公園の中心部であるため、苗木の持ち込みは出来ません。許可を受けて種子採取し麓の菟野町で苗を育て管理しています。2つの事業はとても時間と費用の掛かることです。御在所岳頂上の再生植樹にご関心ある企業及び個人のご協力が必要です。詳しくはお問い合わせください。



### ◆「出張！まちのきこり人育成講座」、「森林体験」承ります。

森林の風では、安全な作業を進める事を基本に、まずは森のマナーとルールを守ることから学んでいただきます。講座開催のための資材は、ヘルメット70個(大)、30個(中)、30個(小)を準備し、のこぎり50丁、研修用チェーンソー12台、梯子(4m)12挺、チャプス15枚など、十分にご用意できます。また、講座のテキストとなる会員で編集した冊子も3冊あります。どんな場合でも活動時は必ずヘルメット着用、安全最優先でお願いしております。森を整備できる人材育成を進めましょう。事務局までお問い合わせください。



会長瀧口より

さっそく担当に・・・  
保険のプロ伊達さん！

◆森林の風に講座や森林体験のお申し込みを検討される場合、参加者の保険加入をお願いいたします。

◆森林の風では、森林施業認定NPOとして皆様にご支援いただきますようひと口3,000円からのご寄附をお

待ちしております。寄附納入後事務局から領収証が発行されます。それにより税制の優遇が受けられます。(詳しくは税務署又は事務局にお尋ねください。)

ご寄附いただいた中でご希望の方には、年4回発行の「森林の風だより」及び「まちのきこり人育成講座」の案内をお届けします。寄付金は鹿の食害が激しい上記の御在所岳頂上の植樹費用にも使用させていただきます。

#### 振込方法

<郵便振込>

口座番号  
加入者名

00830-4-159060

特定非営利活動法人 森林の風

通信欄に 住所・氏名を明記